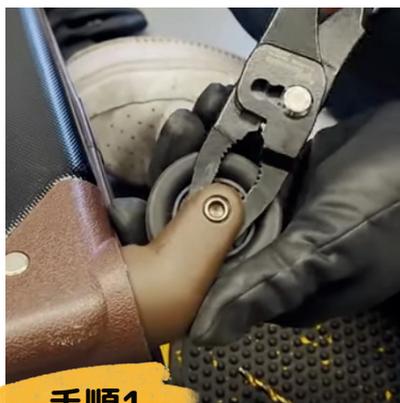


スーツケースキャスター交換手順

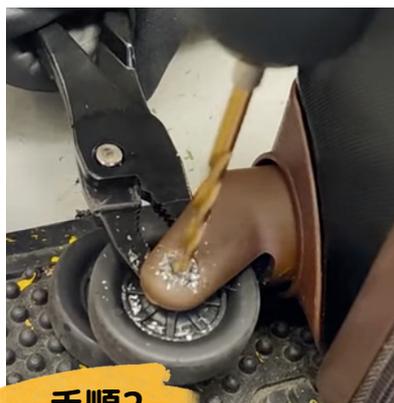
 **取り外しが最重要です!!**



手順1

キャスターの軸を固定する

スーツケースのキャスターの軸を極薄型プライヤーで掴みます。その際、キャスターの種類によっては軸に隙間がない場合があるのでプライヤーで軸が出てくるまで樹脂を引きちぎって、軸をむき出してしっかり掴んでください。



手順2

電動ドリルで軸を削る

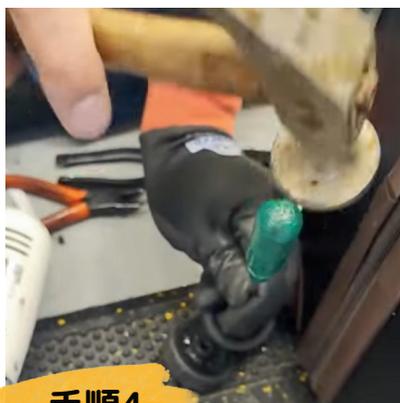
電動ドリルに鋼鉄用ドリル刃(軸径に対して-0.5mmくらい)を装着して軸のカシメられた部分を削ぎ落とします。**ドリル刃や軸が摩擦熱を発するため、土台の樹脂が溶けるおそれがあります。**切削用の潤滑スプレーなど使用し高熱を帯びないようにして下さい



手順3

軸のカシメを壊して取る

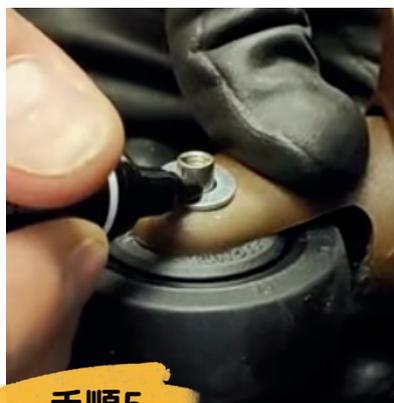
ドリルで穴を空けていくと、カシメられた部分が取れたり、傾いたりします。そうになったら先程使用した極薄型プライヤーやペンチなどでカシメた部分を引きちぎってください。



手順4

カシメ以外の軸を抜き取る

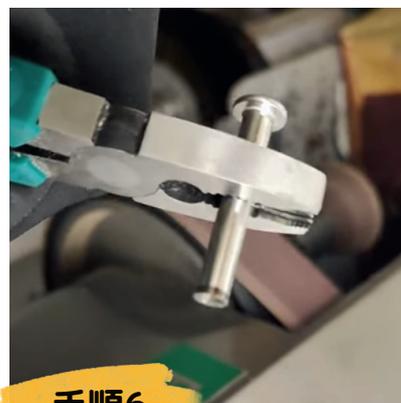
カシメ部分を抜き取った後は、残りの軸を引き抜きます。先ほど取ったカシメ側からドライバなど差し込み、ハンマーで叩いても構いませんし、キャスターをひっくり返して、ネジの頭の方から引き抜いてください。



手順5

SUSパイプのサイズ調整をする

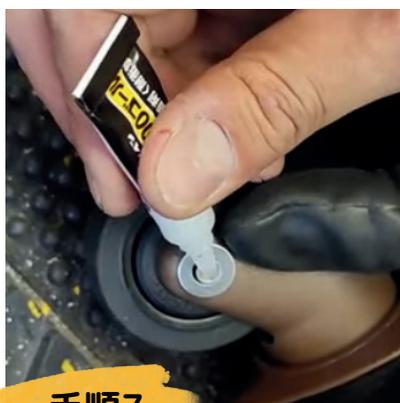
新しく用意したキャスターを装着し、SUSパイプを差し込み、SUSパイプの長さの調整を行います。この際、パイプ両端にワッシャーを仕込んだ上で長さの調整を行ってください。サインペンなどで削り込む位置に印をつけます。



手順6

SUSパイプをフィニッシャーで削る

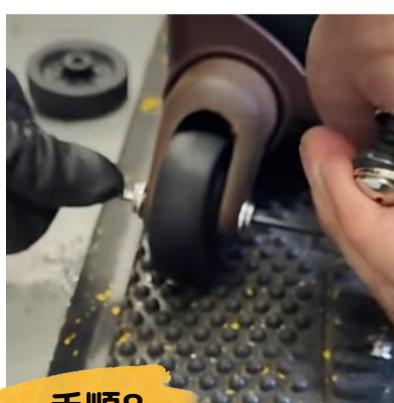
印をつけたところまでSUSパイプを削り込みます。靴修理のフィニッシャーで削るか、パイプカッターで切断してください。バリがやすいので、バリは手ヤスリしてもらうか、細目のペーパーで落としてください。



手順7

瞬間接着剤をネジ穴に注ぐ

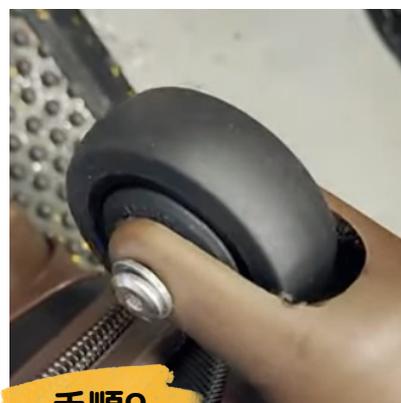
削り込んだSUSパイプを差し込み直し、ワッシャーを乗せて、パイプの内側に瞬間接着剤を流し込み、ネジ部を装着してください。瞬間接着剤を注ぐことにより、パイプネジが緩みにくくなります。



手順8

六角レンチで締める

2本の六角レンチ(4mm)でSUSパイプ・ネジを両側から締め上げます。しっかり締めていただき、その後きれいに回転すれば完了となります。



手順9

きれいに回転するかチェック

回転をチェックしていただき、問題なければこちらで手順は完了です。パイプネジをあまり削りすぎると、ネジの締めすぎにより、回転が悪くなるため、ご注意ください。